(あて先)岐阜市保健所長

病院(診療所)の名称・住所

管理者氏名

診療用放射線照射装置装備届出書

下記のとおり診療用放射線照射装置を備えるので、医療法施行規則第26条の規定により届け出ます。

記

放射線 照射装 置を使 用する 医師、 歯科医 師又は 診療放 射線技 師の氏 名及び 放射線 診療に 関する						記		
TEL() 一 1	名				称			
診療用 放射線 照射装 置にあ事項 製作者名 超型式 式 個数 数 装備する放射性同位元素の種類 装備する放射性同位元素の数量 Bq 診療用 放射線 装備する放射性同位元素の数量 大名 職種 放射線診療に関する経歴 照射装置を使用する 医師、 歯科医師、 歯科医師の氏 る及び 放射線 診療に 関する 日本 本額 位 が射線 診療に 関する 日本 日本 日本	所		在		地			
放射線 照射装置に関する事項								TEL() —
照射装置にあ事項		製	作	者	名			
項 個 数 装備する放射性同位元素の種類 表の数量 診療用 放射線 照射装置を使用する 医師、歯科医 師又は 診療放 射線技 師の氏 名及び 放射線 診療に 関する 放射線 診療に 関する	照射装 置に関	型			式			
装備する放射性同位元素の数量 Bq Bq		個			数			個
診療用 放射線 放射線 照射装置を使用する 医師、歯科医師又は診療放射線技師の氏名及び放射線診療に関する		装備す	る放射性	同位元素	の種類			
放射線 照射装 置を使 用する 医師、 歯科医 師又は 診療放 射線技 師の氏 名及び 放射線 診療に 関する		装備す	る放射性	同位元素	の数量			Bq
照射装置を使用する 医師、 歯科医師又は 診療放射線技 師の氏 名及び 放射線 診療に 関する		氏			名	職	種	放射線診療に関する経歴
置を使 用する 医師、 歯科医 師又は 診療放 射線技 師の氏 名及び 放射線 診療に 関する								
用する 医師、 歯科医 師又は 診療放 射線技 師の氏 名及び 放射線 診療に 関する								
医師、 歯科医 師又は 診療放 射線技 師の氏 名及び 放射線 診療に 関する								
歯科医 師又は 診療放 射線技 師の氏 名及び 放射線 診療に 関する								
師又は診療放射線技師の氏名及び放射線診療に関する								
診療放 射線技 師の氏 名及び 放射線 診療に 関する								
射線技 師の氏 名及び 放射線 診療に 関する								
師の氏 名及び 放射線 診療に 関する								
放射線 診療に 関する								
診療に 関する	名及び							
関する	放射線							
	診療に							
	関する							
経歴	経歴							

予 定 使	用	開	始	年	月	日			年		月	日	
診療用放射 線照射装置 の放射線障			物容器(閉鎖時	の遮蔽 (s)	ζ			1mの距離における空気カーマ率 70 μ Gy毎時 以下 ・ 超える					μ Gy毎時
害の防止に 関する構造	二世	欠電子	ころ過れ	板					有		・(理由	無)
設備及び予 防措置の概 要		寸口を 構造	-遠隔	操作	こよっ	って	開閉でき		有		・(理由	無)
診療用放射 線照射装置	主要	要構造	部等	の構造	Ī			īfi	耐火構	造	•	不燃材料	ł
使用室の放 射線障害の 防止に関す)天井、 『等の)		周囲	の壁	、出入口	画壁の外	·側に‡ 以コ		を実効総	泉量が1mSv 超える	//1週間
る構造設備及び予防措			3	天		井	<u>:</u>						
置の概要	遮	周											
	蔽物の	囲											
	の構造・材料・厚さ等	の壁											
		坚											
			Ē	監 視	用	窓							
					床								
		等 出入口の扉											
				その他	の開	口部	5						
	出力	【口の)数					常時使用		箇所 箇所	↑ ↑(用途)
		寸線系 る装置		その旨	ョを	自動的	的に表示		有		•	無	
	使月	月室を	:示す	標識				(使用室の	有 の名称		•	無)
貯蔵施設の 放射線障害 の防止に関 する構造設 備の概要	貯庫	飯施 設	どの種類	類				貯蔵室・	貯蔵箱	首等 (()
	貯福	黃施 設	どの遮る	蔽				画壁の外			を実効総	泉量が1mSv 超える	//1週間
I V用V / INL女	出力	\□の)数					常時使用 その他		箇所 箇所	「 (用途)
	扉、	ふた	:等外	部に通	ー ヺずる	部分	の鍵等		有			無	

	貯禕	蔵施詞	役を対	示す標識				有	•	無	
	受』 器具	•	及収札	才等の汚染拉	大防」	止設備、		有	•	無	
		主	要構造	告部等の構造	<u>i</u>		耐火	火構造	•	非耐火權	造
	貯	\\.		天	ŧ	‡					
	蔵	遮蔽物の構え	周囲の								
		造·材料·	壁	監視	用忽	芝					
		・厚さ等		床							
				出入口	の原	祁					
	室			その他の	開口音	FIS					
				火設備に該 調ダクト等)		防火戸		有	•	無	
	貯蔵	個	数								個
	貯蔵箱等	構	造				耐火構造	その他 (理由)
		貯澗	籖容器	器の有無				有	•	無	
				艦蔽(1mの距∣ 実効線量率)	離にお	おける貯		10 以下	0 μ Sv/ •	[/] 時 超える	
		貯澗	籖容器	器の構造、材	料、原	厚さ等					
	蔵			構造(空気を) る状態での貯		⁻ るおそ		適	•	否	
	器 に			こくい構造、 オ料(液体状)				適	•	否	
		貯	- 鐵容器	器の標識				有	•	無	
		貯蔵する放射性同位元素の種類 及び数量の標識						有	•	無	
運搬容器の	運搬	- 般容暑	器のす	有無				有	•	無	

放射線障害 の防止に関 する構造設			い い 施 で おけ	る実効	線量率)		1 以下	00 μ Sv,		
備の概要	運搬	设容器	界の構造、	材料、	厚さ等					
			靠造(空気 €での運搬		:するおそれ <i>0</i>)	適	•	否	
			こくい構造 液体状態		ぶが浸透しに < 搬)		適	•	否	
	運搬	设容器	その標識 しゅうしん				有	•	無	
		設する <mark>量</mark> の標		司位元	素の種類及び	ĸ	有	•	無	
放射線治療病室の放射			a療病室の)扉、窓等		床、周囲の壁 族	、画星	壁の外側におり 以下	ナる実効 ・		7/1週間
線障害の防 止に関する 構造設備の			天		井					
概要	遮蔽物の構	周								
		囲								
		の								
	造 •	壁								
	材料・		監	視月	用 窓					
	厚さ			床						
	等		出 .	入口	の扉					
			その	他の関	昇口部					
	放身	才線光	お療病室を	テテナ	票識		有	•	無	
			くぼみ及)状況	び仕上	:げ材の目地等	Ť	適	•	否	
	内部の壁、床等の表面の材質(耐浸透性、腐食しにくい材料)						適	•	否	
診療用放射線照射装置	管	管理	里区域の記				添付書類	頁(平面図	図)のとおり	
線照射装置 の使用によ る放射線障 害の防止に	理区		里区域の5 習えない打		. 3mSv/3カンタ		有	•	無	
関する予防	域	立入制限措置					有	•	無	

措置の概要		標。	哉		有	•	無	
	沙之	乗項の掲示 あんしゅん	患 者		有	•	無	
	仕 .尼	まずはの何小	従事者		有	•	無	
		也内居住区域 <i>及</i> 日を超えない抗	及び境界 (250 μ Sv/3 昔置)		有	•	無	
		定患者の被ば ≥超えない措置	く防止(1.3mSv/3か 置)		有	•	無	
	放射線診療従事 者等の被ばく防		被ばく線量測定用 具		ポケット線量計 TLD OSL線量計		ガラスバッチ)
	; 1 4	1 2 12/15	外部被ばくを少な くする措置	(有	•	無)
		展用放射線照 は者への標識	射装置により治療中		有	•	無	

添付書類

- 1 診療用放射線照射装置使用室、放射線治療病室及び貯蔵施設の平面図及び側面図
- 2 放射線量測定結果報告書又は遮蔽計算書

備考

- 1 診療用放射線照射装置使用室、放射線治療病室及び貯蔵施設の平面図及び側面図には、隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明示すること。
- 2 診療用放射線照射装置使用室、放射線治療病室及び貯蔵施設の平面図及び側面図は、照射方向 並びに発生管から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離(メートル)を記入した50分の1又は1 00分の1の縮図とすること。
- 3 管理区域の境界、標識、使用中ランプ等の位置を図中に記入すること。
- 4 診療用放射線照射装置を備えようとするときは、あらかじめ届け出なければならない。